



男女共同参画推進室ニュースレター

olive・heart

全学研修会開催について

全学研修会「安心して働ける・学べる安全な環境作り ～セクハラ・パワハラ・デートDV対応～」

教職員や学生にとって、安全な職場・学習環境は、安心して修学・就業を続けていくために欠かせないものです。そのため、大学には安全な環境整備に対する配慮が求められ、性暴力（セクシャルハラスメント・デートDV等）を未然に防止する責任があると考えられています。

井口博弁護士は、多くのセクシャルハラスメント事件を手掛けて来られました。事例に触れながら、セクシャルハラスメントの定義や規制に関連する法律、防止措置の責務、組織としての解決法、学生を含めた個人がリスクを回避するための対応等についてご教示いただきます。また、若者のデートDVについても、その実態や未然防止に向けての対策をお聞きします。

今回の研修会はハラスメント相談の担当者の研修も兼ねております。セクシャルハラスメントは、その兆候を見逃さず、迅速に対応することが重要です。二次被害を防ぎ安全に相談を受けるための基礎知識を学びます。



日時 平成23年6月22日(水)
13:30～15:10
講師 井口 博 弁護士
場所 研究交流棟5階 研究者交流スペース
高松市幸町1-1（幸町キャンパス）
対象 全学教職員・学生及び関係者
（ハラスメント相談員研修を兼ねる）

講師紹介 井口 博（いぐち ひろし） 弁護士【東京ゆまにて法律事務所】
一橋大学法学部卒。ジョージタウン大学ロースクール大学院修了。
1978年裁判官 任官（横浜地裁判事補、奈良地裁判事補、法務省訟務検事、大阪地裁判事を経て）。1989年弁護士登録。1996年東京ゆまにて法律事務所開設。
第2東京弁護士会所属。

参加ご希望の方は男女共同参画推進室（内線1055 または
sankaku-room@ao.kagawa-u.ac.jp）までお申込みください。



目次:

全学研修会について.....	1
メンター相談ははじめます.....	2
研究者をめざす.....	3
男女共同参画推進室委員会.....	4
香大こサポーター養成講座.....	4

【メモ】メンターとは

メンターとは、特定の領域において知識、スキル、経験、人脈などが豊富で成功体験を持ち、役割モデルを示しながら指導・助言などを行う人です。そして、その支援活動全体をメンタリングと言い、指示や命令によらず、対話による気づきとメンターからの助言によるメンティー（助言を受ける人のこと）自身による自発的・自律的な成長を促すプロセスを指します。

メンタリングは、ギリシャ神話に登場する人名の「メンター（mentor）」が語源になっており、仕事の仕方や取り組み方、キャリアについて、メンターである先輩の助言者が、メンティーである後輩の相談者との対話により解決を模索する方法です。

メンターは、成功体験を実現するためのお手本をロールモデルとして、他に見せ、目標達成のイメージを明確にし、成功した時の楽しさ、やりがいを「語る」ことで、仕事のやる気を高めることです。自分の体験を教えるだけでなく、現状把握を通して、どのように対応するべきかを自分で考える支援をします。

その他各種相談

ー女性のためのカウンセリングー

毎週水曜日の13～17時、工学部保健管理センターにて、女性カウンセラー中川恵利子さんによる、女性のためのカウンセリングを行っています。

職場の人間関係、キャリアのこと、育児・介護との両立など、悩みをお気軽にご相談ください。
※曜日は変更になることもありますので、まずは電話にてご予約をお願いします。
TEL：087-864-2035
（工学部保健管理センター）

ーOlive・Heart相談ー

男女共同参画推進室では、コーディネーターが両立支援について相談に応じしています。妊娠や出産、介護などで困った時、利用できる学内の制度や休暇について、関係課と調整し、情報提供します。

困ったなと思ったら、男女共同参画推進室をおたずねください。

保育園や学童保育、病児保育についてもご相談いただけます。お忙しい方は出張相談にも応じています。

メンター相談はじめます。

平成23年4月27日、女性研究者支援員・育成員の先生方を対象に、「メンター研修会」を開催しました。講師は工学部で「女性のためのカウンセリング」をしているカウンセラーの中川恵利子先生です。

最初に、メンター制度の実施に当たり、メンターとして相談の受け方等の流れを確認しました。続いて、中川先生の作画を用いたコミュニケーションのワークショップを実施。ワークショップを通して、初対面の人との対話では、受け手の思い込みが多いこと、正確なコミュニケーションをするためには質問が大切なカギになっていること、言葉で思いを伝え



ることの難しさを体験することができました。

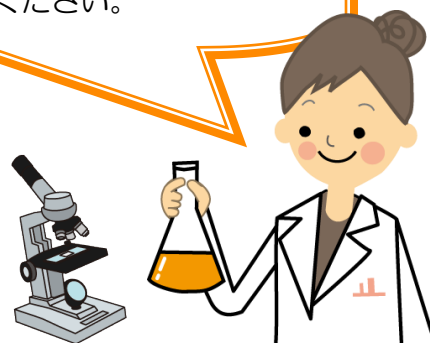
アメリカでは、企業だけでなく大学においても、研究や教育業務、職場や学校での悩み、キャリアプラン、仕事や学業とプライベートの両立などについてメンタリングが盛んに行われており、実績を挙げています。

男女共同参画推進室では、各部局より推薦された女性研究者支援員・育成員が、メンターの役割を果たし、新任者をはじめ学部教員・学生・大学院生等に対して、男女共同参画や女性研究者支援に関する情報提供や相談を行っていただくべく、メンター相談を受け付けます。学部を超えてご希望の先生をご紹介します。

【メンターの先生方】

部局	職名	氏名	部局	職名	氏名
教育学部	教授	風間 喜美江	医学部	准教授	上野 正樹
教育学部	准教授	松井 剛太	医学部	助教	森上 純子
教育学部	准教授	片田江 綾子	工学部	教授	石井 明
法学部	准教授	平野 美紀	工学部	助教	中島 美登子
経済学部	准教授	朴 恩芝	農学部	教授	京 正晴
医学部	教授	名越 民江	農学部	准教授	杉田 左江子
医学部	准教授	塩田 敦子	連合法務研究科	教授	柴田 潤子

研究分野を選択するのにアドバイスが欲しい、
家庭と研究の両立で困ったときなど
ご連絡ください。男女共同参画推進室でご紹介します。
お気軽に、内線1055までお電話ください。



シリーズ 「研究者をめざすあなたへメッセージ」

園部先生は、経済学部へ所属され専門は社会学。本学へはパリ留学を経て、4年前に着任されました。最近刷り上がった博士論文『アフリカ系女性移民者の「自立」と「連帯」—フランス・パリ市ZUS地区における社会・文化的仲介と市民団体活動—』を拝見しながらお話を伺いました。

アフリカとの出会いは小学校6年生、ユニセフ委員活動を通じてアフリカの大規模な干ばつを知りました。中学校に入り、80年代の国際化の波で男女雇用機会均等法ができ、未来が開ける思いがして「将来は国際機関で開発支援がしたい、何かの役に立ちたい」と決意しました。美術展や映画も好きで美術系もいかなと思っていて、2つの大きな夢がありました。いずれにせよ、フランス語がプラスになるのではと東京外国語大学へ進学。でもその大学では学芸員の資格が取れなかったため、国際関係に重点が移りました。90年代はエスニシティや移民の研究が盛んになりつつあった時代でもありました。もっと世界が変わっていくのではと期待が膨らみました。大学を卒業する年はバブル崩壊で就職が一番厳しく、就職できない女子大生がデモをしていた頃、それでも男子にはアポもない会社から山のような資料が送られてきていて、男女格差に愕然としました。受験は頑張れば差別はないけれど、社会では自分の努力と違うところで機会を奪われてしまう、そんな企業には期待できないと思いました。



経済学部
園部 裕子先生

“今からじゃ遅いと思っけていても、やれる今から続けてやってみよう”
“何であるかではなく、何をしたかで評価を決めない”
社会はいつまでもかわらない”と思う。

未来が開ける思いがした均等法から10年経っても、社会は変わっていなかった。大学院のセミナー合宿に、学部生でしたが参加してみました。自分の知らないことをいっぱい知っている大学院生がとても興味深い話をしてくれ、魅力的で知らない世界をたくさん見せてくれました。勉強が楽しかったし、「実力でやっていける世界がまだあった、よしここでやるぞ」と思い、大学院に進学することに決めました。進学に際して卒業論文とフランス語をがんばりました。

難関を突破し東京大学大学院へ進学。しかし大学院での勉強は厳しく、修士論文に3年間かけた後、博士課程に進学しました。大変な時期でしたが、育英会からの奨学金を先行投資するつもりで語学学校にも通い詰め、フランス語をマスターしました。“何かを始めるにはいつも遅すぎることはない、思いついた今からやってみよう”と思ったからです。研究テーマでも壁に突き当たり先が見えなくなった時、「アフリカの女性の研究は少ないから、あなたがやってくれたらいいと思う」と先輩に助言され、「そうだ！私はアフリカがやりたいと思って研究を始めたんだ」とはっと思い直しました。テーマが絞りこめた時、念願のフランス政府給費留学生試験に合格、フィールド・ワークのためのパリ留学が決まりました。

フランスには、いくつかの資金を使って最終的に6年間滞在しました。パリの移民も多い地区に住み、ずっとアフリカ出身移民女性たちの市民団体運動によるエンパワメントを調査してきました。

香川大学では、フランス語と現代フランス、ヨーロッパの社会について教えることを職務としています。フランスで6年間続けた調査の蓄積を講義にも全面的に反映させているので、学生も関心を高められるようです。出会いを大切に、とにかく続けること。それが、自分の自信につながったのだと思います。気付けば人生の半分近くを、フランスに触れながら過ごしています。



男女共同参画推進室とは

男女共同参画推進室では、「女性研究者支援員」「女性研究者育成員」を各部局から1名以上推薦していただき、そこに男女共同参画推進室室長の高木理事、コーディネーター長安めぐみ、深田・佐々木両技術補佐員、本日より給与福利グループ・人事グループ・研究協力グループのリーダー等が加わり、男女共同参画推進室のメンバーを構成しています。

昨年度は、2回会議を持ちました。本学の男女共同参画推進にむけて、「次世代育成部門」「研究者支援部門」「相談・啓発部門」の3つの部門に分かれて、それぞれの事業を企画運営しています。

「ワークライブバランス応援ハンドブック」も室員の皆さんのご協力で出来上がりました。



香川大学男女共同参画推進室

香川県高松市幸町1-1
北5号館1階

電話：087(832)1055
内線：1055
FAX：087(832)1057
電子メール：

sankaku-room@ao.kagawa-u.ac.jp

ホームページ：

<http://www.kagawa-u.ac.jp/sankaku/>

第3回 男女共同参画推進室員会議



平成23年4月27日、第3回男女共同参画推進室員会議を開催しました。室長の高木理事をはじめ、19人の室員が参加し、主に今年度の事業計画について話し合いを行いました。

初年度男女共同参画推進室では、「研究補助者の配置」や「四国女性研究者フォーラムの開催」などを行いました。

今年度は、男女共同参画推進の学内意識の醸成に力を入れます。皆さんの身近な場で研修ができるように、各部局対応の教授会を利用した研修会を企画しています。また、学生対象の男女共同参画をテーマにした講座も開催予定です。機会をとらえて、多くの講座を展開していきます。また、香大っこ(教職員の子ども達)をみんなで育ていけるように香大っこサポーターの養成を行います。次世代の育成の取り組みとして、オープンキャンパスを利用した学生による相談コーナーや女性研究者による出前講座の促進を行います。

昨年度立ち上げた「県内高等教育機関女性研究者支援連絡会」(県内の他大学や高等専門学校が参加)によるシンポジウムの開催や次世代育成の取り組みも検討中です。そして、11月には岡山大学で「第3回中四国男女共同参画シンポジウム」が開催され、1月末には愛媛大学で「第2回四国女性研究者フォーラム」が予定されています。各機関の交流を通して、若い女性研究者の育成に向け協力し合います。

今回の室員会議で最も話題になったのは、男女共同参画推進室が実施している「女性研究者支援モデル育成事業」のミッションにあげられている「女性研究者の比率を事業終了時である平成25年までに19%にする」についてでした。「どのようにして目標値を達成するのか」その具体的な方策について活発な意見交換がなされました。現在、女性研究者の比率は16.2%(昨年度より0.4ポイントダウン)となっています。この数値を目標に近づけていくために何ができるのか。今後、室長が中心になって検討し、役員会等に提案していくことになりました。

香大っこサポーター養成講座

香大教職員の子ども達「香大っ子」をみんなで育ていくために、「香大っこサポーター」を養成します。昨年度、センター入試の託児のために結成した「香大っこサポーター」を拡大し新たに養成するものです。具体的には男女共同参画推進室に登録したサポーターが①預かり支援②病児支援③研究補助支援④事務補助支援を行います。①・②の支援は養成講座受講が必須)学生にとっても将来役立つ講座です。



日程	時間	科目	担当者
6月1日(水)	12:30～	香大っ子サポーターの活動と個人情報の保持	男女共同参画推進室 長安コーディネーター
	12:50～13:40	仕事も家庭も、安心して続けるために	
	13:50～14:25	子どもの発達とあそび★	
6月29日(水)	13:00～14:00	大学研究者の仕事と研究そして暮らし	香川大学教育学部 野村美加 准教授
	14:10～15:40	子どもと楽しく安全に過ごすために★	託児ボランティアあゆみ 梶ヶ谷真知子さん
7月6日(水)	13:00～14:00	共働き家庭のイクメンパパのとりくみ★	香川医療生活協同組合 法人本部組合員活動部 岸本大助さん
	14:10～15:40	子どもの病気と看護基礎知識★	へいわこどもクリニック 病児保育はとぽぽ 病児保育担当者



「初心者マークのパパママ講座」はじめます

*子育てにまだ慣れない新米パパママのために「初心者マークのパパママ講座」を開催します。これは「香大っこサポーター養成講座」を学内の教職員・家族のために公開するものです。上記の日程で行う講座の中で★印がついているものについてご参加いただけます。また日程が近づきましたらポスター等でご案内いたしますので、どうぞお申し込みください。講座終了後、相談コーナーも開設予定です。